

# IMSAP スタジオ

イノベーション・マネジメントシステム・  
アクセラレーションプログラム

第10期 2024年10月開講

## チーム学習で 国際規格に基づいた イノベーションを推進！

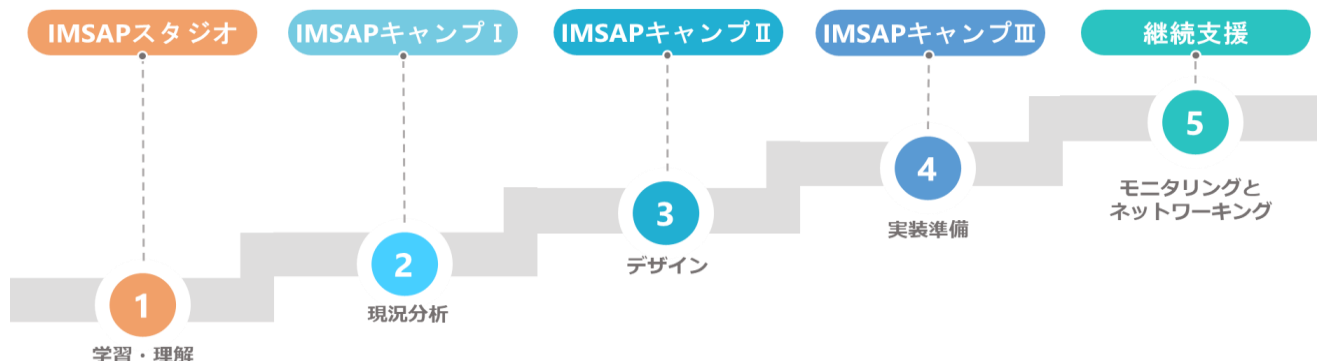
### イノベーションに必要なのは古いマネジメントシステムの刷新

#### イノベーション・マネジメントシステム（IMS）とは？

「本業を持つ組織からイノベーションが興しづらい」のは、既存事業の慣習や経営の常識が、イノベーション活動を阻害するからであり、世界各国の企業の共通の悩みでもあります。そのような悩みを解決するため、IMSの国際規格、ISO56002が2019年に誕生しました。

#### 最新のイノベーション経営を学習⇒実践するためのプログラム

IMSを導入し、イノベーションの成果を出すためには、下図のような順序で進めることが世界標準です。日本代表としてIMSの国際規格作りをリードしてきたJINだからこそ、最先端の知を交えて、支援可能です。



#### IMSAPスタジオの提供価値

IMSを推進するには、同じ想いを持つ仲間・チームが必要です。

IMSのあり方をチームで学習・議論することで、IMS導入・実践する力・考え方を習得していただきます。



##### 最先端の知を習得

ISO56000シリーズに基づき、IMSの要素とあり方を体系的に習得する



##### 推進チーム構築

各社5名で参加し、IMS導入・実践の中核となる推進チームを組織する



##### IMS導入準備

担当役員の合意獲得を含む、IMS導入・実践に向けた道筋を立てる



##### コミュニティ参画

IMSプロフェッショナルの一員として、コミュニティに参加する

#### 本プログラム参加をお勧めする企業

- イノベーションが興せないことが経営課題である
- イノベーションの様々な手法に取り組んだものの、成果が出ず苦慮している
- イノベーションの必要性は理解しているが、何から着手すべきか分からない
- イノベーション推進人材の育成が急務である

#### 過去の参加企業の声

- 「IMS導入、イノベーション創出の第一歩として、とても良い体系だったプログラム」
- 「他社との議論が新鮮、自社に足りない部分が理解でき、IMS導入・改善に多くの気づきを得た」
- 「動画がコンパクトで見やすく、理解の促進に効果的」
- 「異なる業界も同じ悩みを持つことが分かった」
- 「日本におけるIMSの第一人者に直接指導をいただけた」

## 価格

\* 各社想定参加人数5人の場合

# 200万円 (税別)

## 構成



### 1. 動画・個人学習

- IMSとISO56002について、動画12本（各回:10-20分程度）で事前学習
- 都合の良い時間に視聴
- 各回の課題に取り組み、対話セッションに参加



### 2. 対話セッション

- 全5回の対話セッションに複数企業の参加者が集合
- JIN専門家、他社参加者との対話や議論を通じ、規格の深い理解と自社導入のヒントを得る



### 3. 自社内議論

- 対話セッションでの学びをもとに、自社での実践に向けた道筋や現状の課題をチームで議論
- IMS導入に向けて、中核となるコアチームを立ち上げ

## スケジュール

動画学習	対話セッション	自社内議論
1. IMSの基本 2. ISO56002概要解説 3. IMSの原則 4. IMSコンパス	<b>第1回</b> 2024年10月4日 15:00~17:30 ・なぜイノベーションにマネジメントシステムが必要か ・IMSの全体像を理解する ・ISO56002の意味合いを理解する	・なぜ自社にIMSが必要か議論 ・説得すべき役員と巻き込む仲間の候補をリスト化
5. 組織の状況(4章) ・内部外部の論点・利害関係者のニーズと期待 6. リーダーシップ(5章) ・コミットメント・ビジョン、戦略、方針 7. 計画(6章) ・機会とリスク・計画策定・ポートフォリオ	<b>第2回</b> 2024年10月24日 15:00~17:30 ・自社の現状を把握する ・リーダーシップの重要性を理解する ・計画策定の重要性を理解する	・復習テストの実施 ・組織の現状、リーダーシップ、計画策定に関する課題を議論 ・IMS導入に向けた道筋を議論
8.9. 支援体制(7章) ・経営資源の概論と人材・時間と知識 ・財務とインフラ・力量 ・認知度、コミュニケーションと文書化情報 ・ツール、方法と知財のマネジメント	<b>第3回</b> 2024年11月15日 15:00~17:30 ・支援体制の重要性を理解する ・経営資源の投入のあり方を考える	・復習テストの実施 ・自社の支援体制の課題を議論 ・IMS導入に向けた道筋を議論
10-11. イノベーション活動(8章) ・活動の計画・機会の特定・コンセプト創造と検証 ・ソリューションの開発と導入	<b>第4回</b> 2024年12月5日 15:00~17:30 ・イノベーション活動を理解する ・そのプロセスのあり方を考える	・復習テストの実施 ・自社のイノベーション活動のあり方を議論 ・役員・仲間へのアプローチ開始
12. パフォーマンス評価/改善 (9/10章) ・測定/分析/評価および内部監査 ・マネジメントレビューと改善	<b>第5回</b> 2024年12月19日 15:00~17:30 ・評価と改善を通じたマネジメントシステムの習熟の重要性を理解する ・各社のIMS導入に向けた現状を共有し合う	・修了テストの実施 (所定の条件を満たせば、IMS ジュニア・プロフェッショナル認定)

## スタジオ講師陣

対話セッションには、各回のテーマに沿った講師（JIN理事、フェロー）が登壇し、それぞれの知識・経験を共有し、IMSの理解を促進します。



**松本 毅**

常務理事  
IMS エバンジェリスト



**真野 毅**

理事  
長野県立大学 教授  
ISO国内審議委員



**荻原 直紀**

IMSAPスタジオ  
エグゼクティブ  
ディレクター



**尾崎 弘之**

JIN 加速支援グループ  
ディレクター

お問い合わせ・お申し込みはこちらから



[ims@ji-network.org](mailto:ims@ji-network.org)



Japan  
Innovation  
Network

一般社団法人Japan Innovation Network  
〒105-0004

東京都港区新橋1-1-13 アーバンネット  
内幸町ビル 3階 CROSSCOOP内

TEL: 03-5510-7188 <https://ji-network.org>